



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 ITbook 株式会社

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO

(氏名) 恩田 饒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山口 成一

TEL 03-6435-8711

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	708	22.5	△61	—	△62	—	△82	—
26年3月期第2四半期	578	65.1	△154	—	△147	—	△147	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △83百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△5.22	—
26年3月期第2四半期	△9.32	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	859	—	257	—	29.9	—
26年3月期	1,043	—	340	—	32.6	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 257百万円 26年3月期 340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,201	30.1	113	846.0	109	413.8	83	856.5	5.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	15,902,600 株	26年3月期	15,902,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	38 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	15,902,565 株	26年3月期2Q	15,846,498 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動は見られたものの、経済・金融政策の効果等により企業収益や雇用環境の改善など緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが事業領域とする情報システム業界におきましては、企業収益の改善を背景に老朽システム更新など、IT投資が上向きつつありますが、顧客企業等のITコスト削減姿勢は依然として継続しており、厳しい環境にありました。しかしながら、当業界はクラウドコンピューティングや社会保障・税番号制度（以下、「番号制度」という。）に象徴されるような追風も吹いています。当社グループは、番号制度への対応等を中心に大きく動き始めております。

このような環境のもと、当社グループは、成長力の高い企業集団を目指し、優秀な人材確保を積極的に進め、クラウド、番号制度等を中心にコンサルティングメニューの拡大、質的向上、受注拡大に注力してまいりました。

コンサルティング事業におきまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は、官公庁、地方自治体、独立行政法人をはじめとした公共部門に対するものが3月の連結会計年度末に集中する傾向にありますが、堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高7億8百万円（前年同期比22.5%増）、営業損失61百万円（前年同期1億54百万円の営業損失）、経常損失62百万円（前年同期1億47百万円の経常損失）、四半期純損失82百万円（前年同期1億47百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<コンサルティング事業>

コンサルティング事業におきましては、地方公共団体向けの番号制度に関する業務が拡大しており、地方公共団体からの受注数では、30自治体を超えて、わが国で一番多く獲得していると言われております。さらに、コンサルティング・サービスの質的向上を目指し、優秀な人材の確保に努めるとともに、中央官庁、地方自治体、独立行政法人等の公共機関や民間企業に対して積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は、1億86百万円（前年同期比35.1%増）、セグメント損失は、75百万円（前年同期1億32百万円のセグメント損失）となりました。なお、受注に関しましては計画通りに推移しております。

<システム開発事業>

システム開発事業におきましては、Windows XPのサポート終了によるハードウェアの切換え需要やフロント・アプリケーションシステムズ株式会社の業績が寄与し、前年同期に比べ増収増益となりました。また、民間企業向けに、新しい価値を提供する新ブランド<ITbook Blue Line>を立ち上げ、『お客様のビジネスの目標を共有し、ともに実現する』というコンセプトのもとに、お客様の業務を継続的に改善するソリューション「r.a.k.u.」を提供し、事業領域拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は、5億22百万円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益は、39百万円（前年同期1百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1億37百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3億84百万円減少したことによるものであります。固定資産は2億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少しました。これは主に、のれんが29百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8億59百万円となり前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少しました。これは主に、短期借入金が44百万円、買掛金が32百万円減少したことによるものであります。固定負債は1億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少しました。これは長期借入金が14百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債は6億2百万円となり前連結会計年度末に比べ1億円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。これは利益剰余金が82百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.9%（前連結会計年度末は32.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において平成26年5月15日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,939	259,142
受取手形及び売掛金	603,909	219,290
商品	6,894	22,685
仕掛品	5,786	82,566
貯蔵品	159	307
その他	13,277	14,215
貸倒引当金	△329	△267
流動資産合計	751,637	597,939
固定資産		
有形固定資産	16,541	15,768
無形固定資産		
のれん	193,680	163,977
その他	11,855	10,630
無形固定資産合計	205,536	174,607
投資その他の資産	70,248	71,626
固定資産合計	292,326	262,003
資産合計	1,043,964	859,942
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,296	81,252
短期借入金	279,500	235,000
1年内返済予定の長期借入金	29,280	29,280
未払法人税等	15,827	22,256
賞与引当金	22,200	30,700
役員賞与引当金	1,800	4,600
その他	110,149	84,532
流動負債合計	572,054	487,621
固定負債		
長期借入金	94,340	79,700
その他	36,957	35,111
固定負債合計	131,297	114,811
負債合計	703,351	602,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,708	883,708
資本剰余金	153,638	153,638
利益剰余金	△696,859	△779,847
自己株式	-	△15
株主資本合計	340,486	257,483
少数株主持分	125	26
純資産合計	340,612	257,510
負債純資産合計	1,043,964	859,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	578,674	708,966
売上原価	427,805	456,230
売上総利益	150,869	252,735
販売費及び一般管理費	305,145	314,497
営業損失(△)	△154,275	△61,761
営業外収益		
受取利息	124	43
受取出向料	6,500	-
助成金収入	11	116
業務受託手数料	-	540
消費税差額金	-	1,247
その他	1,583	81
営業外収益合計	8,219	2,028
営業外費用		
支払利息	1,822	2,362
その他	0	345
営業外費用合計	1,822	2,708
経常損失(△)	△147,878	△62,440
特別利益		
固定資産売却益	220	-
受取補償金	10,486	-
特別利益合計	10,706	-
特別損失		
固定資産除却損	1,111	-
本社移転費用	3,186	-
特別損失合計	4,297	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△141,469	△62,440
法人税、住民税及び事業税	6,368	20,645
法人税等合計	6,368	20,645
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147,838	△83,086
少数株主損失(△)	△99	△98
四半期純損失(△)	△147,738	△82,987

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147,838	△83,086
四半期包括利益	△147,838	△83,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△147,738	△82,987
少数株主に係る四半期包括利益	△99	△98

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△141,469	△62,440
減価償却費	2,279	2,660
のれん償却額	29,703	29,703
株式報酬費用	21	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40	△62
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,506	8,500
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,050	2,800
固定資産売却損益(△は益)	△220	-
受取補償金	△10,486	-
固定資産除却損	1,111	-
移転費用	3,186	-
受取利息及び受取配当金	△124	△43
支払利息	1,801	2,362
売上債権の増減額(△は増加)	227,691	384,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,015	△92,718
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,080	△32,044
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,001	△3,149
その他	△14,108	△22,389
小計	△114	217,795
利息及び配当金の受取額	140	42
利息の支払額	△2,506	△2,888
補償金の受取額	10,486	-
移転費用の支払額	△3,186	-
法人税等の還付額	205	2
法人税等の支払額	△11,730	△13,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,706	201,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,672	△661
無形固定資産の取得による支出	△462	-
固定資産の売却による収入	8,827	-
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△62,155	-
短期貸付けによる支出	-	△3,000
短期貸付金の回収による収入	43,774	200
敷金及び保証金の差入による支出	△18,876	△811
敷金及び保証金の回収による収入	22,934	-
その他	-	△746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,630	△5,020
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	68,000	△44,500
長期借入金の返済による支出	△18,491	△14,640
自己株式の取得による支出	-	△15
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,248	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,757	△59,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,421	137,202
現金及び現金同等物の期首残高	161,903	121,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,324	259,142

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	138,085	440,589	578,674	—	578,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	681	681	△681	—
計	138,085	441,270	579,355	△681	578,674
セグメント損失(△)	△132,118	△1,804	△133,922	△20,353	△154,275

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△20,353千円には、のれんの償却額△29,703千円、セグメント間取引消去9,350千円が含まれております。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年4月にシーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれんが30,020千円増加しております。

なお、当該のれんの償却額は報告セグメントに配分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	186,520	522,445	708,966	—	708,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,631	2,631	△2,631	—
計	186,520	525,076	711,597	△2,631	708,966
セグメント利益又は 損失(△)	△75,769	39,969	△35,799	△25,961	△61,761

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△25,961千円には、のれんの償却額△29,703千円、セグメント間取引
消去3,741千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。